



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

マリンビジョン21 コンテスト表彰式 「北海道開発局長賞」受賞

「北海道マリンビジョン21 コンテスト2015」(主催・北海道マリンビジョン21 促進期成会)の表彰式が札幌市内のホテルで開催され、総合部門の最高賞である『北海道開発局長賞』を受賞した歯舞地区マリンビジョン協議会(会長・小倉啓一歯舞漁協組合長)へ表彰状が贈られました。

『北海道開発局長賞』は着実に計画を実行し、他地域のモデルとなることが期待される地域を表彰するものです。歯舞地区の受賞は今回で4回目となり、漁業振興を核とした地域活性化に積極的・継続的に取り組んでいる姿勢が今回も高く評価されました。

北海道開発局の今日出入局長から表彰状を受け取る小倉会長



事例報告をする齊藤総務部長

事例報告では、当漁協の齊藤義嗣総務部長が取り組み内容を報告。水産物のブランド化をはじめ、漁業者宅への民泊を行いながら漁業体験をしてもらう修学旅行誘致事業や、漁協女性部の料理講習会を通じた消費拡大の取り組みなどを説明しました。また、マナー化を解消するため、情報発信の強化や他地域との連携強化などに力を入れていることを紹介しました。

この受賞を励みにさらにレベルアップできるよう、気持ちを新たに活動を続けていきたいと思えます。

小学1・2年生が「アサリ掘り体験学習」

歯舞小中学校と花咲小学校の小学1・2年生62人を対象とした「アサリ掘り体験学習」が7月20日、トーサムポロ漁港で行われました。この体験学習は、アサリ掘り体験を通して自然に触れることで、自然の美しさや大切さ、成長や変化の様子を感じ取ってもらうことを目的に毎年継続実施しているものです。

開会式が終わると、子どもたちは用意されたクマデとバケツを持ってさっそくアサリ掘りを開始。砂からアサリが顔を出す度に歓声を上げて喜んでいました。漁業者からコツを教わりながらどんどん掘り続け、バケツいっぱいのアサリを手に嬉しそうな笑顔を見せていました。

開会式で漁業者から説明を受けました

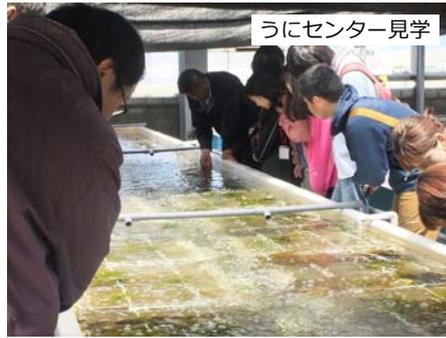


アサリ掘りを楽しむ子供たち



東京海洋大学の実習受け入れ

- 歯舞漁協は7月11日から4日間、東京海洋大学が行う沿岸地域社会調査の実習を受け入れ、3、4年生の学生、教員ら25人が歯舞を訪れました。
- 学生らは歯舞地区の漁家に民泊しながら、市内の永宝冷蔵株式会社で流通加工のヒアリング調査、トーサムポロ漁港でアサリ掘り体験、クルージング体験、納沙布岬などの観光地視察、市場見学などを行いました。
- また、歯舞漁協伊藤専務による講習会では、北洋サケ・マス漁の歴史やサケ・マス、サンマなどの漁法について解説。サンマ棒受け網漁は実際の操業の様子を映像を見ながら解説し、学生らはメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



トーサムポロの潮干狩り 一般開放

- 豊里地区トーサムポロ漁港東側を開放した「歯舞の潮干狩り」が7月23日から始まりました。市内の家族連れを中心に別海町や弟子屈町などから約100人が参加し、アサリ掘りを楽しみました。
- 初日となったこの日は午前9時からセレモニーが行われ、歯舞漁協の小倉啓一組合長が「夏休みの思い出として一生懸命遊んでアサリを採ってください」と挨拶しました。
- 参加者らはクマデとバケツを手に各所に分散してアサリ掘りに奮闘。大ぶりのアサリが顔を出す度に歓声が上がり、笑顔でアサリ掘りを楽しむ姿が多くみられました。
- 今年はこの他に8月5日、6日の計3回の実施を予定しています。



編集・発行・お問い合わせ

- 編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局
- お問い合わせ 事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当
電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

